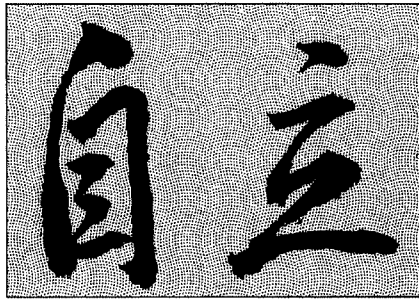




2024年6月発行
社会福祉法人ありのまま舎
(障害者自立企画)
発行・編集責任者 白江 浩
編集 佐藤 環
〒982-8544
仙台市太白区西多賀4丁目19-1
TEL 022 (243) 1300
<http://www.arinomama.or.jp>
E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回・火・木・金曜日発行)
SSKO通巻11660号

感染症対策一部緩和より3カ月 各事業所での変化



4月1日より法人の感染症対策が一部緩和となり、通院、外泊、入院、ご家族以外の方(ご友人等)とお部屋での面会が可能となりました。3ヶ月が経過しましたが、感染者はなく、入居者の方々、スタッフは元気に過ごしています。

自立ホームでは、ご友人やご家族と外出される方が増えました。先々の予定を立てられ生活に充実感が感じられています。太白ありのまま舎と亘理ありのまま舎では、面会時間が1時間に延長されたことで、ご友人と久しぶり会うことができ、ここ数年間の様々な話ができ気分転換になったこと、ゆつくりコミュニケーションが取ることができ気持ち的にゆとりが出来たというお話がありました。またご家族も施設内に持ち込まないという意識は変わらず、スタッフにおいても以前のクラスター対応の経験や日頃からシミュレーション勉強会の知識を生かし、感染者が出た場合は迅速に対応する意識をもって日々の業務に努めています。また通院後、翌日の抗原検査が陰性であればデイルーム等で過ごすことが出来るようになり、入居者の方の表情や様子をより細やかに確認できるようになりました。(河北新報に掲載)

コロナ禍の先に 東北5県移行1年

3 医療・福祉

社会福祉法人ありのまま舎は、2023年4月1日より、仙台市太白区、亘理町、角田市の3市町から、仙台市太白区、亘理町、角田市、大崎市、南三陸町の5市町に移行した。移行1年が経過した。移行後の体制は、各事業所を5市町に振り分け、それぞれが担当する体制となった。移行後、各事業所の業務は、移行前と変わらず、移行後の体制は、各事業所を5市町に振り分け、それぞれが担当する体制となった。

緩和と警戒両立苦心

新型コロナウイルス感染症の感染経路が不明だったため、ありのまま舎では2020年2月の1カ月間、一切の外出と面会を中止した。その後、科学的知見に基づき状況に合わせた段階的に制限を緩和した。JRC仙台病院からは5月6日より、入居者の面会が原則禁止されていた。



入居者と面会する白江理事長(右)。4月から家族以外でも面会できるようになった

薫る風

四月下旬から五月初旬にかけて障害のある人への虐待に関する報道が相次いだ。いずれも知っている障害者支援施設と病院で、シヨックは大きかった。また、その因果関係や原因は不明だが、その過程で亡くなった方がいたことでさらにシヨックは大きかった。いつもそうだが、虐待報道があるたびに他人事ではなく、我が事として考えることを肝に銘じてきた。しかし、今回は心からストリートに我が事として身につまされる思いになった。一件は警察の捜査が続いているようで、まだまだ詳細は分からない。直接事情を伺うにも、制約も多いように感じる。私が施設に置き換え想像するが、仮定ばかりで、なかなか整理がつかない。何よりも虐待を受けた方の思いや痛みをしっかりと感じ取れるかが、問われている。あらゆる可能性や想像を通して、我が施設にオーバラップさせる。少しづつだが漏れ伝わる状況を今だからできるシミュレーションの中で再現させる。十年前に障害者虐待防止法ができ、当初増え続けていた件数については、潜在的にあった虐待が顕在してきたからだ。多くの人が思っている、やむを得ないと感じていた。しかし、それが今も増え続けているとなると、そんな悠長なことは言っていない。私は虐待を考える上で必要なことを虐待防止八原則や九原則として考え、お話をさせて頂いている。簡単に言うとう、誰もが虐待者にも被虐待者にもなるし、虐待理由は多岐多様であり、防止のための取り組みは永遠に続くこと等だ。虐待の最たるものが戦争や紛争等による殺戮だ。公然と命が奪われているのに、私たちは阻止できない。最近の研究で知能も体格も優れたネアンデルタール人が滅びホモサピエンスが生き残ったのは弱く助け合ったからだと言われる。本当だろうか。 (白江浩)

寛仁親王殿下ご命日(6月6日)を偲んで

〜ご薨去から十二年・ありのまま舎と共に〜

『殿下が初めてがんの手術を受けた時、不安でたまらなかった私は、じっとしておれなくなつて東京へと向かった。』

そのころの私は、体力的にもだいぶ弱つてきており、車で一時間ぐらいのところまでなら何とか移動できていたが、ほとんど仙台市内から出ない生活を送っていた。東京は、仙台から新幹線で二時間、私にとっては決して短い距離ではなかった。

私が行ったところで何になるわけではなかったが、直接お会いしてお顔を拝見したかった。お話がしたかった。その思いだけで私は新幹線へと乗り込んでいた。

病室でお会いした殿下は、心配する私たちにあふれんばかりのユーモアと前向きに生きる姿を見せてくださったのだ。術後で大変であろう中、伺った私たちが逆に励まされて戻ってくることになった。それが、私が仙台を出た最後の機会となった。そしてその後も、年々私の行動範囲は狭くなり、今ではベッド上の生活がすべてとなった。多くの人々に会うことも難しくなった。

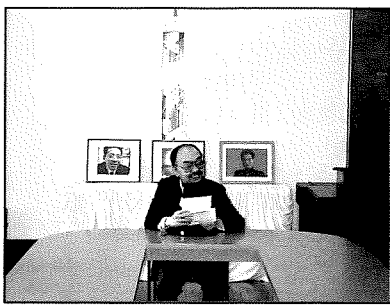
「それでもお前にはまだできることがあるではないか」と殿下はおっしゃるだろう。

殿下は弱音を吐くことが一番嫌いだ。弱音を吐いては何事も進められないからだ。そんな殿下を見ると、今できる精一杯のことをしようと思わずにはいられない。

決して口に出して、私を甘やかすようなことはおっしゃらないし、お会いすると「まだ生きてたのか」と笑顔での挨拶に私も苦笑いするのだが、いつも心のどこかで、案じてくださっていることが、痛いほど良く分かった。

(出典「筋ジス患者の証言」)

山田富也著



東日本震災後、お見舞いにお出ましくださった寛仁親王殿下 2011年5月24日

『ありのまま舎創設以来、寛仁親王殿下や山田三兄弟やその仲間の中に道はなかった』『道がなければ道を作れば良い(挑戦)』は法人の行動指針として刻まれています。

ありのまま舎創設者

山田秀人さんを想う・命日を迎えて・

きつと生きた

目をとじて

この橋を渡ると

ひとつ願いがかなう

君は淋しそうに笑っていた

走るより早く

時は過ぎてゆくから

きのうの悲しみを

もうふりむかない

いつからか人には

渡りきれない橋がある

風の中で君は生きた…

光の中で君は生きた…

愛の中で君は生きた…

夢の中で

君はきつと生きたかった



1984年「新・車椅子の青春」巻頭の詩。この詩にはメロデーがつけられ、「DON—PUCK TRIBUTE」(CD)に収められました。

販売中

「愛と孤独と詩」

難病生活34年・孤高の詩人

山田秀人遺稿集1, 600円

6月13日は、ありのまま舎創設者のひとり、山田秀人さんの命日です。34歳で亡くなつて今年で41年になりました。

3歳の時に筋ジスと診断を受け、11歳で宮城県にある西多賀病院に兄寛之さんと共に入院しました。

病気の進行で頭の重みを支えることさえできなくなった背中筋肉は、背骨の変形をもたらし、体は大きくゆがみ、車椅子に座る態勢さえ自らの力では維持できなくなりました。そんな状態の中でも自らペンを持ち続け、わずかに残された指先の力でペンを握り、最後まで詩を書き綴りました。

秀人さんの詩は、病によつて奪われた愛を取り戻そうと語りかけるような詩から、年々その表現が変わり、愛への憧れ、愛への恐れ、愛への希望から、愛への妄想、愛への失望、愛への怒りへと変化し、やがて愛は寛容の表現となつて描かれています。

命日に際し、秀人さんの詩に思いを寄せたいと思います。



山田かざとり眼科

TEL 022-748-7657

診療に関するお問い合わせや当院に関するご質問、ご要望などお気軽にお問合せください

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
14:00~17:00	○	手術	○	○	○	休診	休診

〒982-0818 宮城県仙台市太白区山田新町82
(K's ケーズデンキ仙台太白店そば)

仙台エリア

【サポートケア仙台ありのまま舎

【難病・障害者相談支援センター】

相談員として普段から様々な方と携わらせて頂いております。

お話しすることの中で、困りごとや新しいことをしてみたいことから、障害福祉サービスの利用を希望する方がいらつしやいます。但し、時には「特にやりたいことはないです」という方もおります。現在利用しているサービスで十分満足した生活を送ることができているのであれば良いですが、何をしたら良いかわからず日々過ごしている、という方もおります。もしかすると、疲れている、気持ちが疲弊していることから意欲が湧かない等の理由があるかもしれません。ご本人の様子、お気持ちを大事にしながら、今までの人生や潜在的な要望、現在の状況等踏まえて、様々な視点からご提案させて頂いています。

今後も「へへ、こんなものがあるんだ」というところから、「もつとやりたいな!」「楽しいな!」への繋げ、充実した毎日を過ごせるようにしていきます。

また常にアンテナを張り、様々なご提案をできるように、福祉サービスを含めた様々なことを学んでいきたいと思っています。

(相澤誠一)

【ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター】

自立ホームの中庭は新緑にいつまれ、清々しい季節を迎えました。天候を見ながら外出される方が増えました。

自立ホームの場合、外出や通院はご自分で交通手段を確保していただいています。通院に関しては体調に関わることであり、ホームで調整ができる範囲でご本人から相談を受けて対応しています。その方によっては病院が複数か所であったり、急な通院が増える場合もあり、交通費がかかってしまい苦慮される方もおられます。

今回白内障の手術を受けられた方おられました。日帰り手術だったため通院が続き、タクシーでの移動が頻繁だったため送迎の相談がありました。他の疾患もお持ちだったため主治医と何度も話し合いを行い、ご本人が納得し、やつと手術を受けることができました。また今回は医師から付添いの指示があり、ヘルパーさんを調整し無事に通院することができました。

(佐藤環)

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎

【アクティヴィティケア】

アクティヴィティの日中活動は、毎週火・土曜日の午前・午後行っています。四月からは新たに1名の外部利用者も入りましたが、最初はご家族からのレクチャーを受けながらの利用から始まりました。安心して利用いただくためにも、ご本人、ご家族に相談しながら進めている所です。今月に入り、ご本人の表情も少しずつ慣れてきており、アクティヴィティスタッフのケアにも安心してきたように思います。

そして活動場所は、アクティヴィティホールにて行っています。このスペースには、正面に太白山、右隣りには中庭があり、景色の移ろいを味わえる場でもあります。また、入居者の活動場所だけではなく、外部利用者の食事やテレビを見ながら過ごされる場としても使われています。

今年度もスタッフの人手も限られている中ではありますが、外部利用者と入居者が一緒に活動することによりお互いが刺激し合えるように日々模索している所です。スタッフ一同これからも努めていきたいと思っています。

(榎本勇太)

【チャイルドケア仙台ありのまま舎保育園】

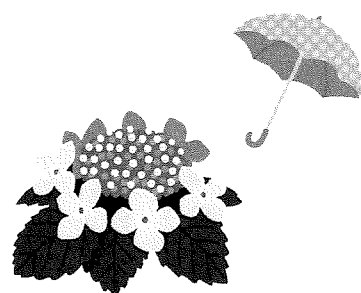
梅雨入りのニュースが気になる時期になりました。晴れの日はお散歩に行っていますが、雨が続きと室内遊びが増えてきます。外に出られない日もできるだけ退屈しないよう、おままごとやお絵描きなど座って行う活動と体を動かす遊びを交互に行っていくと思います。

子どもたちはシール貼りも大好きで、小さな手で夢中になつて台紙から剥がして紙に貼る姿はとてもかわいらしいです。

キャラクターものでなくても大小様々な丸シールで充分。好みの色を並べて貼ったり、顔に見立ててみたりと様々な発見があり面白いですね。



晴れた日は外で元気いっぱい遊びます!



窓にビニールテープを貼る遊びも面白いです。ビニールテープを切って渡すと、やつぱり重ねて貼ったり、並べてみたり。窓に描いたり貼ったりすることは注意しがちですが、剥がしやすいテープや、窓に描いて消せるクレヨンもあるので、時々普段できないことをやってみることも、子どもたちの好奇心や探求心を育みますね。

雨の日など、今日は特別だよとお話して家族で楽しんでみてくださいね。(春日麻里)

名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎

〔難病・障害者相談支援センター〕

昨年度に続き、今月号よりご相談者さんのインタビューを再開したいと思います。質問テーマは昨年度から少し変更しております。

今月号は就労継続支援A型で野菜や果物の袋詰め作業等に取り組み知的障害のある男性のRさんです。

一、マイブームについて

ポケットモンスターや恐竜のぬいぐるみを集めることです。お金の節約のために、フリマサービスを利用して値段交渉をしながら、お気に入りのぬいぐるみを集めています。

二、頑張っていること

家族が忙しい時は、お風呂掃除やごみ捨ての準備、米研ぎをしています。最近、自分から部屋の掃除機掛けもしています。

三、夢について

ポケットモンスターのパケモンGOというゲームが大好きで、新幹線に乗って、今まで行ったことがないポケストップに行ってみたいです。

仕事と余暇のバランスを図りながら生活されているRさんが、夢を実現できるようお願いしたいと思います。(澤田石裕子)

県南エリア

【サポートケア県南ありのまま舎

〔難病・障害者相談支援センター〕

法を犯した障害のある方が地域に戻った後の生活を再構築するため、相談と共に支援に向かうため福祉サービス調整をさせていただく機会が複数件ありました。お一人は刑期を終えて直接地元から離れてのグループホームに住まいの場を確保しました。私もグループホームまで同行させていただきましたが、本人の穏やかな様子に接することができ安堵する思いを抱きながら送り届けたのですが、やはり生活環境の大きな変化はとても大変なことで、ほどなく別のグループホームに移行することとなりました。もうお一人はまさにこれからの地域移行に向けた動きとなっています。

誰もが住み慣れた自宅やその地域での生活を送りたいと思うであろう一方で、本人を取り巻く様々な背景が重なり合う中で生活の場や環境を大きく再構築せざるを得ないことも出てきます。本人にとって希望する形でない方向性を提案し準備することへの複雑な思いは、相談支援専門員として抱くものではありませんが、本人に関わる複数の支援機関との丁寧な意見交換と共に、本人にとって現状でベストと思う生活の形を追求していきたいと思っています。(齋藤栄樹)

【サポートケア亘理ありのまま舎基幹相談支援センター】

四月に基幹相談支援センターに異動して、二か月が経とうとしています。久しぶりの異動ということもあり、日々の業務をこなすことで精一杯でした。

そのような中、亘理町の自立支援協議会については、行政や部会長との打ち合わせを経て、少しずつ動き出していく予定になっています。亘理町の自立支援協議会は四部会が動いているのを知ることから始めていきたいと思っています。

また、その他の事業としては、出前講座の依頼がありました。今後、実施内容等について、依頼元と打ち合わせを行っていく予定になっています。当センターではいくつかの出前講座のメニューを用意していますが、今回は職員向けではなく、町民向けの出前講座の依頼でした。そのため、これまでとは少し内容も変わってくるのではないかと思います。

まだまだこれまでの流れなど分からないことが多いため、一つひとつ確認しながら、これまでの良いところを伸ばしつつ、新しいことにもチャレンジできるように進めていきたいと考えております。(佐々木晃)

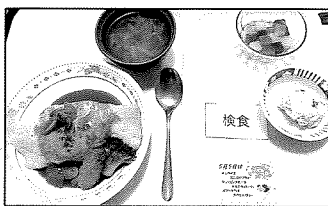
【難病ホスピスケア亘理ありのまま舎】

〔栄養マネジメント〕

入居者・利用者の皆様が日々過ごす中で、毎日の食事を楽しみにして頂けるよう、日々献立を考えております。今年度は行事食はもちろん、近年話題のメニュー、昔懐かしメニュー、皆様との会話からヒントをいただいた考案メニュー、素材を生かしたメニューなどを取り入れ、メリハリのある献立作成に努めていきます。

四・五月の行事食は新年度メニュー、花見弁当風献立、こどもの日メニュー(写真、大人のお子様ランチ風)、母の日メニューなどを提供致しました。行事食を召し上がっていただき、四季や日々の流れを大切にしていただければと思います。

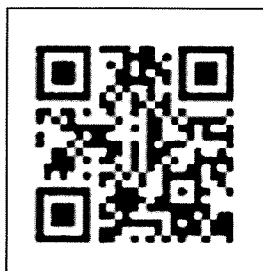
その他の献立では、納豆ビビンバ丼、よだれどり、ジュリエンヌスープ、かみなり汁、松川浦あおさみそ汁など、メニュー名がインパクトのあるものを取



大人のお子様ランチ風！

【ありのまま舎ホームページのご紹介】

当舎ホームページのQRコードです。各事業所の施設紹介を掲載しています。また会報「自立」の場バックナンバー、出版物の紹介、ご支援いただきたい内容、求人情報等も掲載しています。ぜひご活用ください。



り入れています。食材を生かしながら意味を理解していただけるよう、給食にミニカードをつけて配布したり、献立表に記載したりと、今後も工夫しながら取り組んでいきたいと思っています。栄養価重視や個人の主観だけではなく、相手の気持ちに寄り添う、心を込めた給食提供を目指していきます。(渡部海美)

スクラップ

能登半島地震支援について掲載されました。

伝えたい

3.11の教訓

能登地震



白江 浩さん (69)
仙台市太白区
社会福祉法人ありのまま舎理事長
しろうえ ひろし 大阪市出身。慶大卒。国会議員秘書を経て、1997年にありのまま舎事務理事代行。2000年太白ありのまま舎施設長。22年3月にありのまま舎理事長。23年5月から全国身体障害者施設協議会の会長。宮城県患者・家族団体連絡協議会理事長も務める。

社会福祉法人ありのまま舎理事長

周囲気遣い 支援の手を

全国身体障害者施設協議会(東京)の会長を務めている。1月の地震発生以降、被害が大きかった石川県の七尾市と穴水町にある二つの協議会会員施設を中心に支援を続けている。

当初は現地の様子が分からなかった。福井県の施設の関係者がすぐに能登半島に入り、状況を確認してくれた。非常階段が壊れたり、地割れが生じたりしていたが、障害者の受け入れは何とか続けられた。

最初に取り組んだのは物資の発送だ。協議会の東北、関東、近畿の各ブロックから飲料水や簡易トイレ、自宅に戻れない職員向けのテントを送った。「水が足りない」との声は続いたが、必要な物資は次第に変化。その後はニーズを踏

まてカセットコンロや生鮮食材、毛布などを届けた。1月下旬、中部地方の施設から応援職員の派遣を始めた。3月下旬まで延べ100人ほど。両施設とも落ち着きを取り戻しつつある。私が現地を訪ねたのは2月17、18の両日で、ようやく水道が復旧した時期だった。入浴支援はあったが、久しぶりに施設の風呂に入れたと聞いた。

余震続きで精神的に不安定な利用者が少なくない。周囲の人が気遣って、手を差し伸べてほしい。

(聞き手は編集部・田柳暁)

職員は長期的なケアが必要だ。職員の疲労も気になる。自宅が被災し、家族がばらばらの人もいる。東日本大震災の時もそうだったが、大変な状況のまま仕事を続けている。離職を防ぐため協議会としても職員へのサポートを考えたい。

石川県には難病患者の家族らでつくる当事者団体がなく、支援が届いていない人があるのではないかと心配している。難病といったも見ただけで判断できるわけではない。避難所に行かず、壊れた自宅で生活を続けているかもしれない。周囲の人が気遣って、手を差し伸べてほしい。

(聞き手は編集部・田柳暁)

投函前のはがき(書損じはがき)を集めています。新しいはがきや切手に交換して通信費として活用していきます。

他、たくさんの匿名の方々(鈴木一彦)

【書損じはがき等】
24 4/27〜5/25

【ご支援頂きありがとうございます】
【ごさいました(敬称略)】

【バザー提供】
24 4/28〜5/25

【ボトルカンパ】
24 4/27〜5/25

スーパードッグ六丁の目店(若林区) 15, 146円
地元密着で長年営業されているスーパードッグです。永くカンパボトルを設置して頂けます事により感謝申し上げます。地域の皆様よりのお気持ちを強く感じております。



【バザー開催日のご案内】
《2024年7月》
2日(火) コクベニマル鉤取店
4日(木) ヨークマルシェ大和町店
9日(火) ヨークベニマル南宮成店
11日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば
16日(火) ヤマザワ茂庭店
25日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば
27日(土) ありのままショップセール(仙台ありのまま舎)
30日(火) 袋原(同日葵ライフサポートセンター)

レンタカー・カーリースのご用命は

トヨタレンタリース宮城

本社 / 仙台市宮城野区宮千代 2-13-3 電話 022-283-0100
リース支援室 / 仙台市宮城野区日の出町 2-3-7 電話 022-782-0022

本	司	店	022-224-0100	卸	司	店	022-237-0100	仙	台	空	港	店	0223-22-0100	新幹線くりこま高駅前	店	0228-21-2100				
交	通	局	前	店	022-221-0100	高	砂	店	022-254-0100	名	取	駅	前	店	022-381-0100	石巻駅前	店	0225-21-7007		
仙	台	駅	西	口	店	022-213-0100	鹿	野	2	8	6	店	022-246-0100	新幹線白石蔵王駅	店	0224-22-0252	石巻	店	0225-22-0100	
仙	台	駅	東	口	店	022-293-0100	泉	中	央	駅	前	店	022-372-0100	新幹線古川駅	前	店	0229-23-0100	気仙沼	店	0226-22-0100

新型ヴォクシー(車いす仕様・電動スロープ車)
その他ウェルキャブもラインナップしております。

ありのまま舎後援会 (敬称略)
24 4/25 5/22

「協力ありがとう」
「ございました」 (敬称略)

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校 JRC 有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会の仙台北教会と仙台長町教会の皆様にご協力いただきました。また、自立ホーム入居者有志の皆様にも体調をみながらお手伝いいただいています。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいています。ショップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまます舎】

◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会」(書道)など、基本的な感染

対策を講じながら、活動の制限緩和をしていきたいと考えております。

時期を問わず、様々な感染症を身近に感じておりますが、感染対策をとりながら協力して下さり、本当にありがとうございます。(遠藤寿子)

【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ

4 月分の売上の一部を寄附頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部 1,374 円

ありのまま舎 (自立ホーム・太

白ありのまます舎・サポートケア

県南・亘理ありのまます舎

8,916 円

◆株式会社ミチノク

24 1~3 月分売上

日下亜弥 1,054 円

亘理ありのまます舎

6,623 円